

企 画 名 : ミツバチからのメッセージ

団 体 名 : 特定非営利活動法人 F.O.P

## 1. 報告要旨

ミツバチからみた蜂群の大量死を描いた「だれもしらない みつばちのものがたり」(著者:後藤純子)のダンスミュージカルを制作し映像化に向けて、台本づくり、メインとなる楽曲、出演者募集のチラシ、映像の制作をおこなった。自然環境問題、農薬問題などの社会問題を伝える作品を視聴する人は既に関心を持っている人たちが多数と感じる。これではなかなか情報が広がらない。今回は、主にダンススクールやサークルに通う若者に呼びかけ、自然環境などに関心のない若者でも好きなダンスを通して、この環境問題を伝える側になってもらい、情報を知らない層にも広げていくことを目指す。

この企画は県の支援金にも申請したが、環境という側面から見ると手法はとて面白い、しかし、農薬問題に県は関われないとの返答だった。里山の持続可能な地域づくりを考える際、このネオニコチノイド問題はもっと考えるべきことだと思っていたが、農薬問題には行政が協働できないという社会問題も絡むということを知った。これらを乗り越えるためには、草の根をもっともっと広げ、もっともっと、新しい仲間を増やしていかなければならない。そのためにも、参加募集チラシ、映像は、若者が興味を持てるよう工夫しなければならないと考えた。

(結果、映像は1週間で182名が視聴、チラシは今までこういった環境問題などのポスターなどを掲載しにくい店舗でも快く掲載してくれた。(4月末))

楽曲制作では、ネオニコチノイドの問題を知らない人がほとんどだった13名のミュージシャンが賛同し参加してくれた。

製作費用は、賛同者の気持ちによってカバーしているので、タイトなスケジュールに追われ、想いの共有ができずに進んでしまうと気持ちがフェードアウトしてしまう。いよいよ参加者とともに製作に入っていく。問題は深刻であっても、活動は楽しく進められるように心がけたい。

今回、東京、静岡、能登、愛知などの養蜂家、自然農、有機農業を推進する農家や活動家、または、消費者の人たちに、企画をお知らせすると作品完成の折にはぜひ上映会をやろうという声をいただいた。この作品で全国の人たちが繋がっていけるのではないかと期待できた。

## 2. 成果物

1. ミュージカル「A Tale of One Queen Bee」台本
2. 楽曲3曲「オープニング」「乱舞」「求愛・結婚」
3. [参加者募集用チラシ](#)
4. [参加者募集用映像](#)